

リモートサポート&管理

PC・サーバー・Mac・タブレット・スマートフォン・組み込み端末
Windows・macOS・Android・iOS・CE

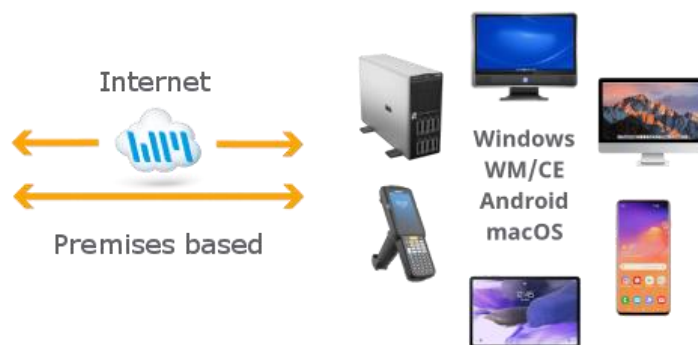
WiseMo ゲストモジュール

お使いの Android 端末で



WiseMo ホストモジュール

お使いのリモートコンピューターまたは端末で



WiseMo は、PC やサーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット端末、その他の携帯型／無人端末間など、コンピューターや端末間の遠隔操作を可能にするソフトウェアを開発しています。WiseMo ソフトウェアを使用すれば、業務効率を大幅に向上させる強力な遠隔制御・管理機能を利用でき、時間とコストの節約が可能です。

ゲスト&ホストモジュール

WiseMo ゲストモジュールは、遠隔操作を行いたい他のコンピューターや端末にアクセスするためのコンピューターまたは端末上で動作します。

WiseMo ホストモジュールは、安全なアクセスを可能にするためにコンピューターや端末上で動作し、認証済みユーザーによるゲストモジュールを介したアクセスを準備します。

クラウドベースまたはオンプレミス接続：

ゲストモジュールとホストモジュール間の接続は、WiseMo の myCloud ソリューション（インターネットを経由）または直接 LAN/WAN ネットワーク（TCP/IP を直接使用）のいずれかの方法で確立されます。

クラウド接続の場合（WiseMo myCloud）、お客様のコンピューターまたは端末はインターネットにアクセスできる必要があります。具体的には、固定回線、Wi-Fi、またはモバイル通信事業者のネットワーク（3G、4G、5G）などを介して接続可能であることが必要です。これにより、ゲスト側とホスト側の両方でインターネットアクセスが可能な環境であれば、世界中のどこからでもコンピューターや端末にアクセスできるようになります。

オンプレミス環境で TCP/IP プロトコルを使用した LAN（Wi-Fi または有線）または WAN 接続の場合、インターネットトラフィックを回避でき、モバイル通信事業者からのデータ通信料金も発生しません。ただし、ゲストモジュールからホストモジュールへの通信を可能にするため、ファイアウォールの設定を適切に管理する必要があります。

Android 用ゲストアプリについて

このガイドでは、Android 端末向けのリモートデスクトップ・ゲストモジュールである Android ゲストアプリのインストール方法、設定方法、使用方法、およびアンインストール方法について詳しく解説しています。WiseMo ホストモジュールを搭載したコンピューターや端末を、簡単かつ迅速かつ安全に遠隔操作するためのガイドです。

注意：本ガイドでは、myCloud 接続または TCP/IP 直接接続のいずれかでアクセス可能なコンピューターまたは端末に、少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがインストールされていることを前提としています。



WiseMo は、PC やサーバー、Mac、スマートフォン、タブレット、その他の携帯型／無人端末間で使用する、クラウドベースおよびオンプレミススペースの遠隔操作ソフトウェアを開発しています。当社のクロスプラットフォームソリューションは、商業・産業用途のリモートサポートおよび管理（RSM）市場を対象としています。

詳細については <https://its.tos.co.jp/products/wisemo/> をご覧ください。

ホストモジュールのセットアップ方法については、当該モジュールのチュートリアルを参照してください。利用可能なドキュメントはこちらから確認できます：<https://its.tos.co.jp/support/download/wisemo/>

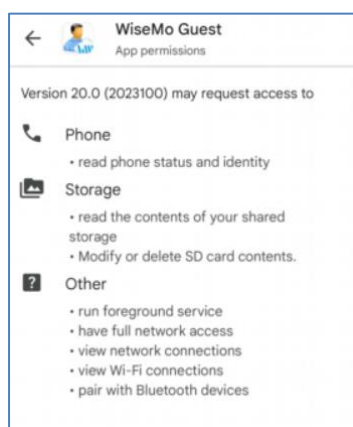
1. Android ゲストアプリのインストール

このアプリは Android スマートフォンまたはタブレットにインストールすることで、PC、サーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット、その他の携帯型または無人端末を遠隔操作できるようになります。本アプリの動作には Android バージョン 4.0 以降が必要です。

Google Play からアプリをダウンロードしてください：



ダウンロード前に、このアプリがアクセスする可能性のある情報についての説明が表示され、特定の権限の承認を求められる場合があります。当社のアプリは写真や動画にはアクセスしません。ただし、独自の設定ファイルやログファイルにはアクセスするため、端末上のファイルの書き込み/読み取り権限が必要となります。アプリが正常に機能するためには、このような権限要求を必ず承認するか、後でこれらの権限を無効にしないようご注意ください。



ダウンロード後、Google Play から、または端末上でゲストアイコンを探してアプリを起動してください。



インストール時に、**WsmGuest** というフォルダーが作成されます。このフォルダーには、作成された電話帳ファイルやその他のデータファイル（例えば **WsmGuestAndroid.log** など）が格納されます。このフォルダーの保存場所は以下の通りです：

`[/storage/emulated/0/Android/data/com.wisemo.wsmguest.v18/files/WsmGuest]`

アプリをアップグレードした場合、これらのデータファイルは保持されますので、データを失うことなくアップグレードが可能です。ただし、アプリをアンインストールすると、保存されていたデータは失われます。

2. スタートアップウィザード

ゲストアプリを初めて起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。このウィザードでは **myCloud** の概要を説明し、既に **myCloud** ドメインへのアクセス権をお持ちの場合は、そのドメインの事前設定を行うことができます。また、インターネット経由での簡単な接続を試してみたい場合には、トライアル用の **myCloud** ドメインを作成するためのリンクも提供されます。

最初にローカルネットワーク上でのみゲストを使用したい場合、「続行」ボタンを押すと、ゲストのユーザーインターフェースに到達します。後から、ユーザーインターフェースから直接 **myCloud** ドメインにログオンすることも、ウィザードを再度実行するように設定することも簡単に行えます。

その他の設定オプションは「オプション」タブで確認できます。このタブでは、リモートコンピューターまたは端末に接続する際に使用されるデフォルトの接続設定を指定します。個別の接続設定は「電話帳」タブから定義可能です。



3. ゲストアプリの使用法

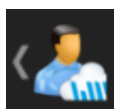
少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがコンピューターまたは端末上で動作していることを前提としています。これにより、リモートデスクトップ制御セッションを正常に開始する準備が整います。

ゲストモジュールはタブ形式で構成されており、画面上部に表示されます：



端末にすべてのタブが同時に表示されない場合（例えば画面の狭いスマートフォンなど）は、1 本の指でタブメニューを水平方向にスクロールして、すべてのタブを表示してください。

端末の画面サイズや縦向き/横向きの表示モードによって、タブのレイアウトが異なります。表示スペースが十分な場合は、タブを分割表示することがありますが、そうでない場合は詳細表示を確認するために、項目をタップする必要がある場合があります。

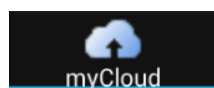


一般的に、1 階層下にいる場合は、左上隅の「<ゲスト」アイコンを押すことで 1 階層上に戻ることができます。また、端末の「戻る」ボタンを使用することもできます。

「<」アイコンがゲストアイコンの前に表示されていない場合は、最上位階層にいます。

以下の各タブについて説明します。TCP/IP 経由で初めてリモートコントロール接続を行う場合（例えばローカル Wi-Fi や LAN に接続された別のコンピューターや端末に接続する場合）は、直接セクション 3.2 の「簡易接続」タブに進んでください。

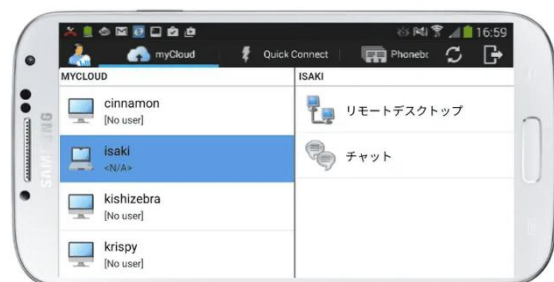
3.1 「myCloud」タブ



「myCloud」ドメインにログオンしている場合、お使いの myCloud 対応ホストコンピューターおよび端末の一覧が表示されます。

このタブから、接続したいコンピューターや端末を簡単に選択して接続できます。リモートコントロールセッション（リモートデスクトップ）を開始するか、チャットセッションを開始するかを選択できます。

（注意：myCloud タブに表示されるホストを確認するには、myCloud ドメインで少なくとも 1 つのホストモジュールを有効にしておく必要があります）。



注意：接続時には、「オプション」タブで定義されたデフォルトの接続設定が使用されます。接続設定では、ログオン資格情報の自動入力や、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面／通常サイズなど）をはじめ、さまざまなオプションをカスタマイズ可能です。



myCloud が有効化されたコンピューターおよび端末の一覧は、コンピューターや端末がドメインに参加した場合、または myCloud がホストのドメイン離脱を検知した場合に自動的に更新されます。ホスト一覧は手動で更新することも可能です。画面右上にある更新ボタンをワンクリックしてください。



すでにログオンしている場合は、「ログオフ」ボタンを使用してドメインから切断してください。例えば、別のドメインにログオンしたい場合などに便利です。また、ログオフボタンを使用することで、次回ゲストとして起動した際にプログラムが自動的にドメインにサインインするのを防ぐことができます。



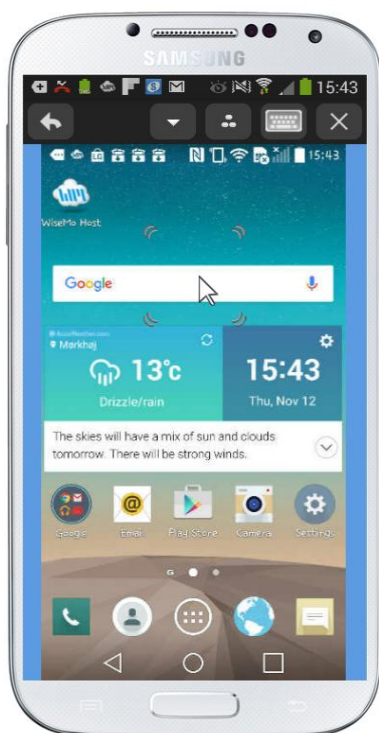
まだログオンしていない場合は、画面右上にある「更新」ボタン（リフレッシュボタン）を押してください。この操作により、ログオン画面が表示されます。

ログオンするには、ご自身の **myCloud** ユーザーアカウントの資格情報を入力してください。これはメールアドレスとパスワードで構成されており、二要素認証（2FA）が設定されている場合は、検証コードの入力も必要になる場合があります。

本プログラムは資格情報を記憶しますので、ゲストアプリを起動するたびに再入力する必要はありません。ただし、**myCloud** アカウントが二要素認証で保護されている場合は、毎回検証コードを入力する必要があります。資格情報をプログラムに記憶させたくない場合は、ゲストアプリを終了する前に、「ログオフ」ボタンを手動で操作してください。



使用例：Samsung 端末から LG 端末のリモートデスクトップ操作を行う場合。LG 端末の画面が Samsung 端末に表示されています。



全画面表示



指でつまんでズーム

リモートデスクトップ操作セッション中に利用可能なオプションについては、[4「ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール」](#)を参照してください。

3.2 「簡易接続」タブ



このタブを使用すると、TCP/IP 経由で WiseMo ホストモジュールが動作しているコンピューターまたは端末に迅速に接続できます。

リモートホストの IP アドレス（または DNS 名）を把握している必要があります。TCP/IP 通信で到達可能でなければなりません。例えば、両者が同じ LAN または Wi-Fi ネットワーク上にある場合などが該当します。

アドレスを入力し、接続ボタンをクリックするだけです。通信プロファイルとして TCP/IP が選択されていることを必ず確認してください。

リモートデスクトップ接続またはチャットセッションのいずれかを選択できます。

接続時には、「オプション」タブで定義されたデフォルトの接続設定が使用されます。「電話帳」タブを使用すれば、個別の接続設定を定義して保存することも可能です。接続設定を使用すると、ログオン資格情報の自動入力、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面/実際のサイズ）の選択、その他多数のオプション設定が可能になります。

注意：デフォルトでは、このプログラムはポート 1970 を使用します。対象コンピューターのホストモジュールが別のポートで待機するように設定されている場合は、IP アドレスの後に「ホスト ID」フィールドに該当ポート番号を指定できます。例えば：10.204.1.3:1975 のように指定します（1975 がポート番号です）。

リンクの共有と招待リンク

誰かがあなたに招待リンク（特定のホストから）または共有リンク（myCloud ウェブインターフェースから）を送ってきた場合、そのリンクを「ホスト ID」フィールドに貼り付けて「接続」ボタンをクリックすると、ゲストユーザーはそのリンクが作成されたホストに myCloud 経由で接続できます。この際、あなたがその myCloud ドメインにログオンしている必要はありません（お使いの端末はインターネット接続環境が必要です）。



使用例：スマートフォンから Windows 10 PC をリモートデスクトップ操作



全画面表示



2本の指でつまんでズーム

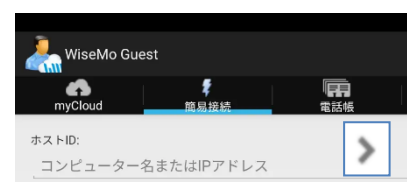
詳細については、セクション 4 の「ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール」を参照してください。リモートデスクトップ制御セッション中に利用可能なオプションについて説明しています。

簡易接続履歴

使用されたアドレスは簡易接続履歴リストに保存されるため、以前に接続したホストに再接続しやすくなります。簡易接続履歴リストにアクセスするには、「>」ボタンをクリックしてください：

使用するアドレスをクリックすると、簡易接続画面に戻ります。ホストアドレスを電話帳に追加するには追加ボタンを使用します：

追加



3.3 「電話帳」タブ



電話帳タブからは、事前に定義されたアドレスと接続プロパティを備えたホストエントリを作成できます。

リストからホストを選択し、「リモートデスクトップ」または「チャット」をクリックして接続します。

電話帳リストでは、現在接続されているホストを確認できます。

ホストを選択して切り替えることができます。

セッションタイプ（リモートデスクトップとチャット）を切り替えまたは接続を解除します。



右上にある「+」ボタンをクリックし、電話帳に新しいホストを追加します。

電話帳に登録された各ホストは、個別の接続設定をカスタマイズできます。これにより、最適な接続環境を実現するための最適な設定を行うことができます。

最低限、説明とホストIDの入力が必要です。ホストIDは、遠隔地のホストコンピューターのIPアドレスまたはDNS名を使用できます。その他の設定項目はすべて、「オプション」タブでホストエントリ作成時にデフォルト設定されたものです。このホストへの接続に関するご自身の好みに合わせて、ホストエントリの設定は現在または後で変更することができます。



新規エントリを保存するには、左上にある「戻る」ボタンを押してください。

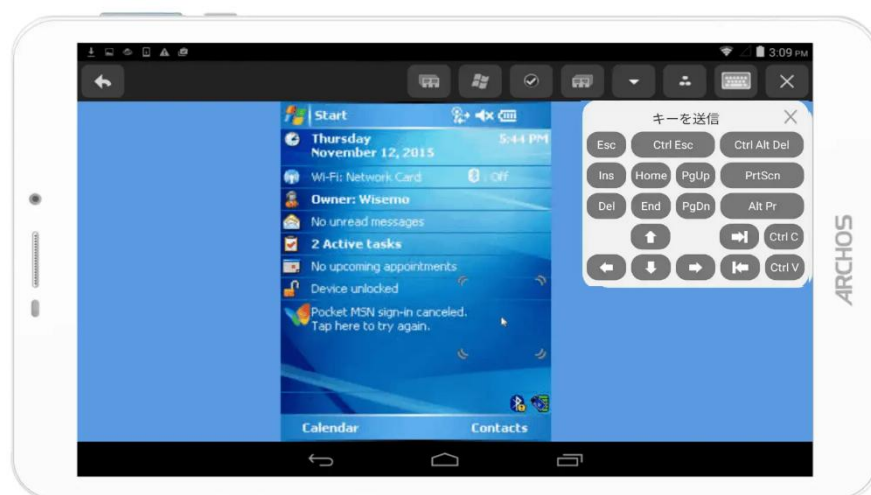
電話帳のホストエントリを削除するには、エントリを長押しして削除を確認してください。

端末の種類や、端末が横向きモードか縦向きモードかによって、表示される画面が異なる場合がありますのでご注意ください。

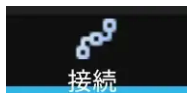
例：Android タブレットのゲストモジュールから Windows CE 端末をリモートデスクトップで操作する場合

特殊キー操作をホストコンピューターに送信するためのドロップダウン画面です。

Windows Mobile/CE 端末を制御するための専用ボタンが、上部ツールバーに配置されていることをご確認ください。画面が狭い場合は、これらのボタンはドロップダウン画面に表示されます。



3.4 「接続」タブ



「接続」タブには、myCloud タブ、簡易接続タブ、または電話帳タブのいずれかから確立されたすべての現在の接続が表示されます。

「接続」タブにはさらに、Android 通知に表示される「ゲスト」アイコンからもアクセスできます。このアイコンは、ゲストユーザーが少なくとも 1 つの接続を持っている場合にのみ表示されます。

「接続」タブからは既に接続されているホストコンピューターや端末間を移動することができます。

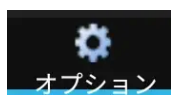
すでに接続済みのホスト（例えばリモートデスクトップ接続を使用している場合）では、チャットセッションを開始できます。またその逆も可能です。

また、接続タブからホストの接続を解除することもできます。

接続タブの名称には現在の接続数が含まれています。これにより、アクティブな接続があるかどうかを簡単に確認できます。



3.5 「オプション」タブ



オプションタブでは、リモートコンピューターや端末に接続する際に使用するデフォルトの接続設定を変更できます。また、このタブではその他のさまざまな設定や情報も確認できます。

3.5.1 接続プロパティ

接続プロパティは、myCloud タブまたは簡易接続タブからリモートホストコンピューターに接続する際に使用されます。これらのプロパティは、電話帳にエントリーを追加する際のデフォルト設定としても使用されます。各種類の設定については以下で詳しく説明します。

3.5.1.1 ホストログオン資格情報

ホストがmyCloudデバイスアクセス制御（mDAC）を使用して認証を行っていない場合、これらの事前に定義された資格情報がゲストアクセスの認証のためにホストに送信されます。ユーザー名、パスワード、ドメインまたはワークグループなどの資格情報は、ホスト側で定義された認証方法に応じて使用されます。資格情報が間違っているか欠落している場合、ゲストはホストに接続する際に不足している資格情報の入力を求められます。ホストが二要素認証（2FA）で保護されている場合、検証コードの入力も求められます。



3.5.1.2 表示

全画面表示サイズ：

このチェックボックスをオンにすると、ゲストは最初にホストのデスクトップ全体を表示します。接続中は、表示領域を拡大表示（ズームイン）することで、デスクトップの一部をより詳細に表示することが可能です。

このチェックボックスをオフにすると、ゲストは最初にリモートデスクトップを実際のサイズで表示します。場合によっては画面の一部しか表示されないことがあります。接続中は、簡単に画面を移動して（パン操作）デスクトップの全領域を確認したり、表示サイズを縮小表示（ズームアウト）することで画面全体を表示できます。

画像品質：

画像品質設定を調整することで、パフォーマンスを最適化できます。

「スライダー」

画面の画質と転送速度の優先順位を設定します。このスライダーで圧縮方式と圧縮レベルを設定できます。中央位置がデフォルト設定で、プログレッシブ画質との組み合わせに最適です。

プログレッシブ品質切り替え機能

3種類の非可逆圧縮方式のいずれかを選択している場合、アイドル時間を利用して画質を徐々に向上させ、完全な画質に近づけます。



3.5.1.3 デスクトップの最適化

これらの設定は、接続時に遠隔地のコンピューターの画面表示をどのように最適化するかを決定し、可能な限り最適なパフォーマンスを実現します。

最適化：最適化処理を実行するかどうかを指定します。
すべての機能：このチェックボックスをオンにすると、利用可能なすべての最適化機能が使用されます。

使用しない特定の最適化機能を無効にすることができます。利用可能な機能は以下の通りです：

壁紙：遠隔地の画面から壁紙を削除します。
スクリーンセーバー：スクリーンセーバーを無効にします。
アニメーション：遠隔デスクトップが通常使用する様々なアニメーション効果を無効にします。
フルウィンドウドラッグ：ウィンドウをドラッグする際、表示されるのは枠のみで、ウィンドウの内容は表示されません。
アクティブデスクトップ：古い Windows PC で使用されているアクティブデスクトップ機能を無効にします。
Aero：Aero 機能（ウィンドウ枠の透過表示など）を無効化します。



最適化が実際に適用されるかどうかは、ホスト側のオペレーティングシステムに依存します。

3.5.1.4 キーボードとマウス

「起動時に開く」設定を有効にすると、ホストへの接続後にゲスト用キーボードが自動的に開きます。接続後の最初の操作として、ゲスト用キーボードを使ってログオンするなどの操作を行うことがよくあります。

3.5.1.5 圧縮設定

圧縮レベルを「高」「低」、または圧縮を一切行わないように設定できます。通常は自動設定のままにしておくことが最適です。これらの設定では、転送されるデータの圧縮率が定義されます。圧縮レベルを高く設定すると CPU の負荷は増加しますが、転送するデータ量を削減できます。

3.5.1.6 優先暗号化方式

ホストアプリケーションの設定が最終的にどのレベルの暗号化が使用可能かを決定します。ただし、ゲストユーザーとしてご利用の場合、ご希望の暗号化レベルを指定することができます。ホストアプリケーションが許可している場合、その設定が優先されます。許可されていない場合は、ホスト側で許可されている暗号化レベルが適用されます。必須でない限り、従来の暗号化方式は使用しないでください。一般的に速度が遅く、セキュリティレベルも低いからです。

3.5.1.7 接続時のアクション

接続時のアクションとは、ホストアプリケーションと接続した際に自動的に実行される設定項目です。ただし、これらの動作は、ホスト側のセキュリティ設定がそのような動作をサポートしている場合に限り有効となります。

キーボードとマウスをロックする：

ゲストユーザーが接続されている間、**Windows** ホストコンピューターのユーザーはキーボードとマウスを使用できなくなります。

空白を表示する：

Windows ホスト PC/Mac の画面が非表示になり、デスクトップがそのモニターを見ている第三者から見えなくなります。

他のゲストの接続を一時停止する：

WiseMo 製品では、許可されている場合、複数のゲストユーザーが同一のホストに接続可能です。この設定により、ユーザーが接続中の間は、他のゲストユーザーが接続できないように制御されます。

3.5.2 myCloud アカウント

myCloudの資格情報を入力し、それが機能することを確認できます。

(URL フィールドは変更しないでください)。

「起動時に構成する」を選択すると、ゲストアプリ起動時にセットアップウィザードが起動します。



3.5.3 バージョン情報

「バージョン情報」画面では、プログラムおよび端末自体に関する様々な情報が提供されます。これにはバージョン情報、ライセンス情報、著作権表示などが含まれます。

3.5.4 マウス操作の説明



従来のマウスをリモートホストコンピュータ上で操作しているかのようにシミュレートするため、ゲストプログラムではマウスマーカーを使用します。

この機能は、リモート端末上でのマウス操作の位置指定および実行にも使用されます。

このマーカーは 4 つの角で示された正方形の領域と、ホストコンピュータ上の実際のマウスマーカー形状を反映する中央のマウスマーカーで構成されています。なお、マーカーは操作のしやすさを考慮してサイズ調整が可能です。



マウス操作の説明を参照して、左クリック、右クリック、垂直スクロールなどの様々な便利な機能をマーカーでどのように使用するか学んでください。

3.5.5 サポートログ

ゲストとホスト間の通信ログを低レベル設定で記録します。トラブルシューティング時に使用します。問題を報告する必要がある場合、**WiseMo** サポートチームからこのログファイルの作成と送付を依頼されることがあります。

4. ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール

ホスト端末または端末に接続すると、リモートデスクトップ画面またはその一部が端末の画面に表示されます。表示領域は簡単に調整でき、2本の指で画面をつまんでイン/アウトすることで拡大/縮小が可能です。



端末上でマウス操作、またはサイズ変更可能な **WiseMo** マウスマーカーを使用して、リモートホスト端末の画面を操作できます（マウス操作の詳細については「オプション」タブ>「マウス操作の説明」を参照してください）。まずマウスマーカーを配置し、タップすることでリモート端末上でクリック操作を実行できます。誤ってリモート端末で操作が行われるのを防ぐための操作手順です。マウスマーカーの外側をタップすると、マーカーはタップした位置に移動し、そこから操作を継続できます。タップ操作（マウスマーカーの内側）を行うことでマウス操作を実行できます。左クリック、右クリック、ダブルクリック、マウスボタンの長押しなどの操作方法については、「マウス操作の説明」をご覧ください。

また、コマンドメニューとボタンメニューも利用可能です。詳細は以下をご覧ください。

メニューボタン

上部ツールバーには複数のボタンが配置されています。一部のボタンはゲストアプリケーション内で直接機能しますが、他のボタンは接続先のホスト端末の種類によって異なる特殊なボタンです。これらの特殊ボタンはリモートホストに送信され、そこで実行されます。



このボタンを押すと、直前に表示していたタブ画面に戻ります。この操作はセッションを終了するものではありません！



このボタンを押すと、ホスト端末とのセッションを終了します。



このボタンを押すと、リモートホスト端末に特定のキー操作やキーコンビネーションを送信するための専用画面が表示されます。例えば、**Windows PC** で頻繁に必要な「**Ctrl+Alt+Del**」の送信や、**Android** 端末でよく使われる「ホーム」ボタンの送信などがその一例です。



このボタンを押すと、特定の機能を実行するためのコマンドメニューが表示されます。ホストコンピューター/端末の機能に応じて、マーカーモードの起動、キーボード/マウスのロック、再起動、ホストコンピューターのロックまたはログオフ、画面の非表示（**Windows/Mac**）などの機能が利用可能です。



Android 端末上のゲストキーボードを開いたり閉じたりできます。



リモートの **Android** ホスト端末上で実行可能なボタンです。これらは上部のツールバーに表示されます（通常はタブレットや横向きモードのスマートフォンなど、スペースが十分にある場合に表示されます）。



リモートの **Windows Mobile/CE** ホスト端末上で実行可能な特殊ボタンです。これらはスペースが十分にある場合に上部のツールバーに表示されます（通常はタブレットや横向きモードのスマートフォンなどで表示されます）。

マウスマーカー

マウスマーカーは以下の要素で構成されています：角が丸みを帯びたフレームと、中央に配置されたマウスマーカーです。フレームの外側をタップするとマウスの位置を設定でき、フレーム内で指を動かすと位置を調整できます。フレーム内でタップするとマウスクリックが実行されます。

ホストコンピューターのリモートデスクトップ操作時、ゲスト側のマウスマーカーはリモートコントロール先のホストコンピューター上での表示に合わせて動的に変化します。以下に異なる種類のマウスマーカーの例を示します：



マウスマーカーは簡単にサイズ変更が可能で、ご自身にとって最も使いやすいサイズに調整できます。2本の指で内側につまむように操作してください。

注意：通常、最初に位置合わせのために1回、次にリモートクリックを実行するためにもう一度タップする必要があります。また、マウスマーカーを目的の位置にドラッグしてから1回タップする方法もあります。この操作手順により、端末画面上の意図しない場所に触れてしまい、リモートコントロール先のコンピューターで誤ってマウスクリックが行われるのを防ぐことができます。

マウス操作

ゲストオプションタブから常にマウス操作の説明を確認できます。利用可能な操作についての詳細なガイドが提供されています。

 画面をスクロールする マウス枠の外側で指を移動します。	 マウスを動かす マウス枠の内側で指を動かします。	 マウスをクリックして押したままにする マウス枠の内側を2回タップし、2回目を押さえたままにします。マウスの右ボタンには2本の指を使用します。
 画面をズームする 2本の指でつまみます。	 マウスの左クリック マウス枠の内側を指でタップします。ダブルクリックするには2回タップします。	 垂直スクロール マウス枠の内側で2本の指を置き、上下に動かします。
 マウス位置 マウス枠の外側をタップして、マウスの位置を変更します。	 マウスの右クリック マウス枠の内側を2本指でタップします。ダブルクリックするには2回タップします。	

ポップアップ画面

ホストコンピューターや端末に接続する際、ホスト側の設定によっては、パスワードの入力を求められる場合や、アクセスを許可または拒否する操作を行う人を待つ必要がある場合があります。

ホストが二要素認証で保護されている場合、検証コードの入力も求められます。

システム認証

接続中...


 ホストがアクセスを確認するのを待っています。

同じホストに接続された複数のゲスト

複数のユーザーが **WiseMo** ゲストモジュールを使用して、ホストの許可があれば同じホストに同時に接続できます。これにより、複数のユーザーが単一のリモートデスクトップ上の操作状況を確認することが可能になります。

すべてのゲストユーザーは画面を閲覧できますが、キーボード/マウス/入力操作を行えるのは同時に 1 人のゲストユーザーのみです。最初に接続したゲストユーザーが、最初に入力操作の権限を取得します。

任意のゲストユーザーは、マウスクリックなどの入力操作をホストに転送することで、入力操作の権限を取得できます。この操作が行われると、「入力操作が割り当てられました」という通知が表示され、それ以降の入力操作はすべてホスト側で実行されます。入力操作の権限を持っていたゲストユーザーには、「ホストによって入力操作が取り消されました」という通知が届きます。

5. リンクの共有と招待リンク

招待リンク（特定のホストから発行されたもの）またはシェアリンク（**myCloud** ウェブインターフェースから発行されたもの）を受け取った場合は、そのリンクを「簡易接続」タブにある「ホストID」フィールドに貼り付けることができます。続いて「接続」ボタンを押してください。ゲストは、**myCloud** 経由で、そのリンクの発行元であるホストに接続します。その際、該当の **myCloud** ドメインにログオンしている必要はありません。ただし、お使いの端末がインターネットに接続されている必要があります。

6. ゲストアプリのアンインストール

端末上で通常アプリをアンインストールするのと同じ手順で、ゲストアプリをアンインストールしてください。例えば、「設定」-「アプリ」メニューから「リモートデスクトップゲスト」を選択して「アンインストール」を実行します。

7. ゲストアプリのライセンス情報

Android 用ゲストモジュール（バージョン 20）には、サポート対象のすべての **Android** 端末で永続的に使用できる無料のライセンスが付属しています。

ゲストモジュールからは、有効なライセンスを取得した **WiseMo** ホストモジュールに接続することができます。

8. 用語解説

コンピューター - ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行するサーバー、ワークステーション、デスクトップ、ラップトップのいずれかを指します。

端末 - ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行する、スマートフォン、タブレット、セットトップボックス、スキャナー、その他の携帯型または無人端末を指します。

ゲスト - コンピューターや端末（例：PC、iPad、iPhone、Android 端末、または対応ブラウザから実行）にインストールされるモジュールです。ゲストモジュールから、ユーザーは別の端末やコンピューターをリモートコントロールできます（ホストモジュールが動作している端末に対して）。

ホスト - ゲストモジュールから遠隔操作される対象のコンピューターや端末にインストールされるモジュールです。具体的には PC、Mac、スマートフォン、タブレット、セットトップボックス、または対応オペレーティングシステムを実行するその他の端末などが該当します。

ホスト構成マネージャー - 別名 ホストマネージャーまたはモバイルホストマネージャー。**WiseMo** ホストアプリケーションの設定に使用するツールです。**Windows** デスクトップコンピューターにインストールされ、ホストサービスまたは端末と通信します（端末が PC に USB 接続されている場合）。

スキン - 端末のリモート制御用グラフィカルユーザーインターフェースで、**Windows** デスクトップコンピューターから操作する場合に使用します。通常、これは実際にリモート制御されている端末の正確なグラフィカルコ

ピーです。スキンのボタンはインタラクティブに動作し、実際のボタンのキーストロークを模倣します。スキンのボタンのいずれかをクリックすると、実際のボタンをクリックした場合と同じ操作が端末上で実行されます。

通信プロファイル - ゲストモジュールとホストモジュール間の通信に使用されるプロトコル設定です。主な通信方式として、TCP/IP と **myCloud** の 2 種類があります。ゲストモジュールから直接ホストモジュールに接続する前に、使用する通信プロファイルをゲスト側で指定する必要があります。

myCloud - 通信プロファイルの一種です。**myCloud** 通信は、ファイアウォールやプロキシ、NAT (Network Address Translation) 環境を通過可能なインターネットベースのプロトコルです。**WiseMo** の **myCloud** サブスクリプションベースのサービスの一部として提供されており、コンピューターや端末間のリモートコントロール接続を容易にします。

mDAC - **myCloud** デバイスアクセス制御機能。誰がどのコンピューターや端末で何を行えるかを一元的に定義・管理します。